

平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

沖縄県

行 事 名 称	第 6 4 回 文化財防火デー 仲原遺跡消防訓練
実施期間・日時	平成 30 年 1 月 26 日 (金) 10:00~11:00
実 施 場 所	国指定史跡 仲原遺跡 (沖縄県うるま市与那城伊計)
主 催 者	うるま市教育委員会、うるま市消防本部

■実施内容

訓練の想定

- ・国指定史跡仲原遺跡において出火したと想定。それに気がついた近隣自治会長の通報により消防車が出勤し、速やかに消火活動を行う。

訓練の内容

- ・近隣自治会長により火災を発見、消防署へ通報。
近くにいた人々に火災発見を伝え、火災発生現場に近づかないよう呼びかける。
また、消防車を誘導するために遺跡入口へ向かい、誘導する。
消防到着後、状況を説明。消防団員による消火活動を実施。
- ・消火後、消防隊員による消火訓練を実施。消火器の使い方、消火の際の注意事項を説明。その後、自治会長、幼年消防クラブ引率職員が参加して、練習用水消火器を活用した訓練を実施。

参加者及び役割分担

- ・伊計区自治会長 (1 名): 119 番通報、火災発生周知、消防車誘導、消火訓練
- ・うるま市消防本部 (10 名): 全体総括、講評、放水訓練、消火訓練
- ・うるま市伊計区消防団 (4 名): 放水訓練
- ・うるま市教育委員会 (10 名): 現場立会い、消火訓練
- ・うるま市幼年防火クラブ (16 名): 放水訓練見学、消火訓練

特に工夫した点

- ・近隣地域自治会に参加を呼びかけ、地域にある文化財に対する防火意識を高めてもらえるようにした。
水消火器を活用した訓練にも積極的に参加してもらい、「消火器の使い方がわかってよかった」との感想があった。
- ・地域の消防団に訓練に参加してもらい、消火活動を行った。実際に火災が発生した場合には、地域の消防団が初期消火活動等を行うことになるので、「いい訓練になった」との声があった。
- ・幼年防火クラブの保育園に参加を呼びかけ、訓練の様子を見学してもらい、地域にある文化財に対する防火意識を高めてもらうようにした。

問題点・課題

- ・地域住民の参加が少ないので、事前の広報活動に工夫し、自治会とも協力し、参加を呼びかけたい。

その他

- ・今回のような防火訓練を継続して実施していきたい。

訓練風景

